

令和7年度 大学院医学研究科 医学研究講義Ⅱ 日程表（旧科目名称：基礎臨床共通講義Ⅱ－医科学研究特論－）

No.	開講期間	タイトル	担当教員	専門分野	講義内容
1	R7.06.05(木) 10時 ～ R7.06.12(木) 10時	がんウイルス療法と遺伝子治療について	福原 浩	泌尿器科学	がん治療用ウイルスを用いた「ウイルス療法」および遺伝子治療の現況をご紹介します。
2	R7.06.19(木) 10時 ～ R7.06.26(木) 10時	神経筋電気診断の有用性	大石 知瑞子	脳神経内科学	診察で推察した病巣を末梢神経伝導検査、針筋電図などで確認し、確定診断に導くことが神経筋電気診断であり、その有用性について解説する。
3	R7.07.17(木) 10時 ～ R7.07.24(木) 10時	腫瘍とは何か ー脳腫瘍概念の変遷と診断技法ー	里見 介史	病理学	概念の確立は科学の根幹を成す重要な要素である。脳腫瘍を題材に分子生物学の発展とともに変化した概念の変遷とその診断技法を解説する。
4	R7.09.25(木) 10時 ～ R7.10.02(木) 10時	狭心症でなぜ痛みが生じるのか？	八木 淳一	統合生理学	狭心症の発作時、主に胸部に痛みを感じる。虚血状態に陥った心臓がなぜ痛みを起こすのか？ 痛みの神経機序を解説します。
5	R7.10.02(木) 10時 ～ R7.10.09(木) 10時	臨床解剖研究について	渡辺 邦太郎	麻酔科学	臨床解剖は、基礎研究と臨床を橋渡しとなる研究手法と考えています。またこういった研究テーマは臨床医にしか思いつかないものです。日頃の疑問やこうなったらいいと思うことを検証することができます。
6	R7.10.16(木) 10時 ～ R7.10.23(木) 10時	赤痢菌の病原性発現機構とワクチンの開発	三戸部 治郎	感染症学	赤痢菌の病原性発現を負に制御する因子と、それを応用したワクチン候補株を開発した経緯を紹介する。
7	R7.10.30(木) 10時 ～ R7.11.06(木) 10時	本邦における脱毛症診療水準の向上を目指した取り組み	木下 美咲	皮膚科学	円形脱毛症を主とする脱毛症を対象に、診断技術や治療水準を向上すべく当教室が行う研究を紹介する。
8	R7.12.05(金) 10時 ～ R7.12.12(金) 10時	アフリカツメガエル卵母細胞によるトランスポートアッセイ	田中 弦	薬理学	アフリカツメガエル卵母細胞は膜タンパク質を大量に発現させるのに有用なツールである。これを用いた当教室のトランスポーター研究を紹介する。
9	R7.12.19(金) 10時 ～ R7.12.26(金) 10時	人工知能技術の画像診断分野における臨床応用について	片瀬 七朗	放射線医学	人工知能技術の画像診断分野における応用について現状と今後について解説する。
10	R8.01.16(金) 10時 ～ R8.01.23(金) 10時	細胞内のCa2+濃度を制御するカルシウムポンプの役割	山本 幸子	分子機能生化学	細胞内Ca2+は、分化や増殖など様々な細胞内イベントに関わるため、種々のタンパク質によって厳密に制御されている。ここでは、この制御に関わるタンパク質の一つ、カルシウムポンプに焦点をあてて、特にゴルジ体局在のCa2+ポンプSPCAの生理機能を中心に紹介する。
11	R8.01.30(金) 10時 ～ R8.02.06(金) 10時	骨に関連する脳卒中	本田 有子	脳卒中医学	脳梗塞の原因は多岐にわたるが、単純のC TやM RIで発見されにくい骨に関連する脳卒中についての研究を紹介する。
12	R8.02.06(金) 10時 ～ R8.02.13(金) 10時	高難度手術手技の3Dモデルを用いたトレーニングとシミュレーション□	橋本 浩平	呼吸器・甲状腺外科学	高難度手術手技を臨床だけで学ぶのは容易ではない。手術可能な3D気道モデルを開発し普及させている。
13	R8.02.13(金) 10時 ～ R8.02.20(金) 10時	ショウジョウバエ中枢神経損傷時のグリア応答とその分子基盤	加藤 健太郎	発生・遺伝学	神経損傷時のグリア細胞の応答とその分子基盤について、ショウジョウバエを用いた研究を紹介する。あわせてモデル生物としてのショウジョウバエについても解説する。
14	R8.02.20(金) 10時 ～ R8.02.27(金) 10時	うつ病・双極症におけるケタミン治療	櫻井 準	精神神経科学	近年、麻酔薬ケタミンの抗うつ作用が注目されている。本講義では、演者が行っているケタミン投与試験について解説する。
15	R8.02.27(金) 10時 ～ R8.03.06(金) 10時	法医学の診断精度向上への取り組み	山田 真嗣	法医学	法医学の診断における課題と、診断精度向上を目指した当教室の取り組みを紹介する。

【医学研究講義について】

- 全てWeb形式で開講します。各講義の事前に、Web講義用URLをメールでお知らせいたします。
- 講義資料の視聴・閲覧だけでは出席と認められません。 開講の際に通知する講義レポートに、氏名を明記のうえ回答・送信することで出席とします。
- 講義資料が動画の場合、ファイルサイズが大きくなります。ネットワーク環境が整っている場所で視聴することを推奨します。
- 講義資料はダウンロードできません。また、講義資料は大学院生の視聴・閲覧のみを目的として作成しています。
大学院生以外の方の視聴・閲覧、画像のコピーや転載・転用は固く禁止します。

【公開論文発表会】

- 公開論文発表会 ・日程等は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で医学研究講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。但し、2コマを限度とします。
- 出席確認として、公開論文発表会「参加者名簿」に記載が必要です（記載が無い場合、受講したと認めません）。

【特別講義（特別講演会）及び、イブニングセミナー】

- 日程は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で医学研究講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。
- 出席確認として、特別講義（特別講演会）「参加者名簿」に記載が必要です（記載が無い場合、受講したと認めません）。